

## 法政国際高校 1 年 1st Test (2024.05)

### ～ 概要～

試験時間	50 分		
	設問概要		
	形式	基本(テキスト内) / 応用	時間配分予想
[ I ]	長文読解	基本	15 分
[ II ]	空欄補充	基本	10 分
[ III ]	長文読解 (マークシート)	応用	10 分
[ IV ]	空欄補充 (マークシート)	基本	5 分
[ V ]	空欄補充	基本	5 分

### ～ [ I ] 長文読解～

✓ **形式**

：歴史上の人物とその人が行ったことについての文章。

- (1): 文章中の空欄を埋める単語を問う短答式の問題。単語についての意味も提供される。
- (2): 本文に関する質問 (英語) に合う選択肢を選ぶ。
- (3): 本文に関する質問 (英語) に合う選択肢を選ぶ。
- (4): 5つの英文を正しい順番に並べ替え、答えを満たしている選択肢を選ぶ。
- (5): 4つの英文がそれぞれ T/F かを選び、答えを満たしている選択肢を選ぶ。
- (6): 長文の要約の中にある空欄を選択肢から選び埋める。

✓ **問題数**

：(1)~(5)はそれぞれ 1 問ずつ、(6)は 6 問。計 11 問。

✓ **配点**

：(1)、(6)~(11)は各 1 点、(2)~(5)は各 2 点。計 15 点。

✓ **ポイント**

：人の歴史についての話では流れや順番を理解することが重要。また、選択式の問題ではすべての選択肢に目を通し、それぞれにキーワードとなる単語を見つける事で効率的に読み進めることができる。

## ～ [II] 空欄補充～

### ✓ 形式

：文章中の空所や日本語訳に相応しい選択肢を選ぶ問題。

- (1): 生徒の日記と題して空所に早々しい選択肢を2択の中から選ぶ。
- (2): 日本語訳を基に英会話文の空所を補う。(空所に入る語は1語とは限らない)
- (3): 日本語訳にもっとも合う英文を4つの選択肢の中から選ぶ。
- (4): 3つの英文の文型をそれぞれ選ぶ。

### ✓ 問題数

：19問

### ✓ 配点

：各1点。計19点。

### ✓ ポイント

：主に会話や日記など最初の長文読解と比べるとカジュアルな内容になっている。ここでは、文章のコンテキストを理解したり、日本語と英語がどのようにつながっているのか（～していた＝was doing など）を理解したりする必要がある。

## ～ [III]長文読解（マークシート）～

### ✓ 形式

：主人公とその他の登場人物を交えた物語形式の長文。

文章に沿って5W1Hを問われ、4つの英語の選択肢から正解の一つを選ぶ。

### ✓ 問題数

：7問。

### ✓ 配点

：(1)のみ1点、(2)～(7)は各2点。計13点。

### ✓ ポイント

：登場人物の名前などが無く the lady や woman となっていて混乱しやすいので。代名詞が誰の事なのかを整理しながら読む、状況を図にあらわすなどして理解することが重要。

長文問題の解法の基本として、本文→問題ではなく、問題で問われている事から、読むべき箇所を本文から検索するようにして、時間短縮を図る。

～ [IV] 空欄補充問題（マークシート）～

✓ **形式**

：空欄に入る語を選択肢の中から選ぶ問題。  
肯定文に加え疑問文も含まれている。

✓ **問題数**

：6問。

✓ **配点**

：各1点。計6点。

✓ **ポイント**

：語群には動詞や名詞などが混ざって入っているので、それらを見分ける事でも少ない選択肢で考えることができる。そのため、単語の意味に加えて、**品詞**を理解しておく事が重要になる。

～ [V]空欄補充～

✓ **形式**

：日本語訳に合うように空所に適切な語を記入する。  
空所に頭文字がある場合にはその文字から始まる単語で答える。

✓ **問題数**

：7問。

✓ **配点**

：各1点。計7点。

✓ **ポイント**

：人工知能（artificial intelligence）や首都（capital）など英語でニュースを見ていると出てくるような単語が多い。単語頭文字の指定があるということで、語彙力が重要になる。また、この問題は短答式なのでスペルミスにも気を付けたい。

## ～ 総評～

### ✓ 対策ポイント

：単語は短答式の問題に多く出てきやすい動詞・名詞を中心にスペルと意味を覚えて、長文読解に慣れること。

：長文読解のタイプについてはさまざまに歴史的な出来事や人物について、日記について、物語についてなど多様性があるのでより多くのリーディングをこなしていくべき。また、長文読解では内容のおおまかな理解と要約をすると同時に細かな単語の意味 (only) などにも注意を払って読む事で高得点を狙うことができる。

### ✓ 傾向と対策

：単語を覚えていること・文法を適当な形で使うこと・前後の文脈を読みとることを中心に見ている。どの設問でも複雑さはないが時間配分を考えると、英語を読むこと自体に悩んでいる時間はない。瞬発的に英文を読み解き、手順よく当てはめていくことが重要となる。

#### ⇒インターTOMAS では

個別指導でもスラッシュリーディング指導を行うことで、**速読力・速聴力**を磨きます。

試験時間が短い、足りないと感じる場合には、このトレーニングが有効です！

#### ⇒インターTOMAS では

いろいろな英文に触れることができる、受け放題の加圧式音読グループレッスンが効果的です。

英語長文を安定してなめらかに読み切る**読解力**が身に付きます。